

**製品名: CRBP II ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09368**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	15kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RBP2
別名	RBP2; CRBP2; Retinol-binding protein 2; Cellular retinol-binding protein II; CRBP-II
遺伝子 ID	5948.0
SwissProt ID	P50120
免疫原	抗血清は、ヒト RBP2 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

**背景**

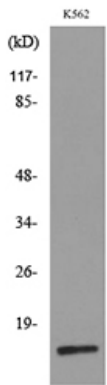
レチノール結合タンパク質 2 (RBP2) ホモ・サピエンス この遺伝子は、小腸上皮に豊富に存在するタンパク質をコードしています。

ビタミン A の取り込みおよび / または細胞内代謝に関与していると考えられています。ビタミン A は脂溶性ビタミンであり、成長、生殖、上皮組織の分化、そして視覚に必須です。このタンパク質は、月経周期中の子宮内膜細胞の核へのレチノイン酸の供給を調節する可能性もあります。[RefSeq 提供、2015 年 8 月],ドメイン: 内部に疎水性リガンドを収容する  $\beta$  バレル構造を形成する。機能: レチノールの細胞内輸送。類似性: カリシンスーパーファミリーに属する。脂肪酸結合タンパク質 (FABP) ファミリー。組織特異性: 成人の小腸で高い発現を示し、胎児の腎臓でははるかに低い発現を示す。

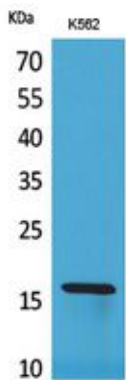
## 研究分野

-

## 画像データ



RBP2 抗体を使用した K562 細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



CRBP II ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。